

医療逼迫の現状を防ぐため 「抗原キットや解熱鎮痛薬の準備を」 沖縄県薬剤師会が呼びかけ

7/05 沖縄タイムス

新型コロナウイルスの感染拡大で救急医療が逼迫（ひっばく）する現状を受け、沖縄県薬剤師会の前濱朋子会長らが4日、県庁内で記者会見した。抗原検査キットや解熱鎮痛薬の在庫は十分あるとして、重症化リスクのない人などは事前に準備するよう呼びかけた。



医療逼迫を防ぐため、抗原検査キットや解熱鎮痛薬の準備を呼びかける県薬剤師会の前濱朋子会長（中央）ら＝4日、県庁記者クラブ（沖縄タイムス）

県内の新規感染者数の推計値は1万人に達し、入院患者数も千人を超えるなど、年明けの第8波のピーク時を超える状況になっている。各医療機関では病床確保が困難になり一般診療を制限する病院も出ていることから県や県医師会は検査目的や軽症者の救急受診を控えるよう訴えている。

県薬剤師会によると5月下旬から6月に入って抗原検査キットの問い合わせが急増。同会のホームページに販売薬局の一覧や解熱鎮痛薬のリストを掲載した。

前濱会長は「地域の最寄りの薬局を活用することで、医療逼迫を未然に防いでほしい」と強調。重症化リスクがある人には「受診控えせず、かかりつけ医などに相談してほしい」と話した。同会が運営する抗原検査キット販売案内窓口は薬剤師が常勤し、土日祝日でも相談を受け付ける（午前9時～午後5時）。問い合わせは電話098（963）8931。（

<https://news.yahoo.co.jp/articles/562bf0ce7ad17cea07f7a712d9ea608bc36ea6a7>

「供給量は確保」コロナ急拡大の沖縄で市販の抗原検査キットと解熱剤の活用呼びかけ

7/4(火) 19:50 配信 9

沖縄テレビ放送



沖縄テレビ